



写真/主任臨床検査技師 山川栄一



## より質の高い医療を目指して

副院長 新国 恵也

「当院ではこれまで、地域がん診療連携拠点病院として、また急性期病院として地域の医療ニーズに対応してきました。

今年は、がん診療と急性期医療の質をより高め、さらに充実した医療サービスが提供できるようにと、二つの大きな工事を予定しています。

その一つが放射線治療棟の新築工事で、最新の治療装置を二台導入します。

その治療装置では、複雑な形状の腫瘍であっても、その形状に合わせたピンポイントの照射が可能で、治療効果の向上が期待できます。また正常組織を傷つけないので照射に伴う合併症や副作用の軽減がはかれます。

がん治療の三本柱は、手術、抗癌剤治療、放射線治療ですが、これからは放射線治療に関しても県内で最高水準の治療が受けられるようになります。

もう一つの工事が、HCU (High Care Unit ; ハイケアユニット) と言われる高度治療室の工事です。3階東病棟を改修し12床を設けます。

重症の救急入院、全身麻酔の大手術後、一般病棟で容態が悪化した方などを収容し、集中治療を行います。その後病態が安定してから一般病棟へ移動します。

当院は、これからもより安全、安心で質の高い機能的な医療を目指します。

## 脊椎脊髄外科診療について

現在（平成30年1月）、高橋一雄、矢尻洋一の2名で脊椎脊髄（頸椎、胸椎、腰椎）の診療にあたっております。腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症、腰椎すべり症などの腰椎疾患や頸椎椎間板ヘルニア、頸椎症性脊髄症、後縦靭帯骨化症などの頸椎疾患のほか、骨折・脱臼などの脊椎外傷、骨粗鬆症に伴う圧迫骨折、脊髄腫瘍と多岐にわたり手術を行っています。手術は神経損傷を防ぎ出血をさせないために、ほとんどの症例において基本的に顕微鏡を用いて、神経の除圧操作を行っています。脊椎疾患はまずは手術をしない保存療法を第一と考えています。そして内服、注射、ブロック、リハビリを行っても改善のみられない症例や麻痺が進行している症例では手術を行います。また必要に応じて新潟大学医歯学付属病院脊椎脊髄外科と連携し、相談、紹介をしています。

私達が診療する脊椎疾患は加齢が原因となる変性疾患です。手術をしたあとも年をとり、加齢による脊椎の変性、変形は止めることはできません。ですから手

術については患者さんの年齢、内科的疾患、その他の病気の有無、生活状態、その後の長い生活をふまえ、手術をするか否か、また手術するなら、どのような術式が最善であるのかを考えるようにしています。

手術を受けることは大変なことです。誰でも色々悩み、不安、心配になります。治療法の選択、手術の内容、術後の生活、セカンドオピニオン、他院への紹介など遠慮なく御相談ください。

新患の受付を他院からの紹介状を持参した患者さんと救急患者に制限させていただいております。大変ご迷惑をおかけしますが、御理解いただき、まずはお近くの開業医の先生方の診察を受けられ、病院での診察が必要と判断されましたら受診されますようお願い申し上げます。



記事担当

脊椎脊髄外科  
矢尻 洋一

### 腰部脊柱管狭窄症

腰部で神経の通り道である脊柱管が加齢で狭くなり脚に行く神経を圧迫する病気です。

内服、その他の治療で改善なく、両足がしびれる、痛む、長く歩けない、力が入らないといった方は手術をして神経の圧迫を取り除き症状を改善できます。



術前MRI



術後MRI

## 最新式アンギオ装置、心臓カテーテル装置の導入について

血管撮影（アンギオ）装置では、手足の動脈からカテーテルという細長い管を挿入し、目的の血管まで進め造影剤を注入して撮影し、血管の走行や形状、閉塞、破れなどの血流の状態を観察し必要に応じて血管内治療を行います。

カテーテルを用いて血管を広げたり、止血をしたり、腫瘍の栄養血管から直接抗腫瘍薬を注入してそのまま血管を閉塞させる治療を行います。

脳梗塞に対しては今回血栓吸引装置を導入し、発症8時間以内であれば血栓を除去する治療が可能となり、まひや言語障害などの症状の回復が大いに期待されます。

新しい装置ではX線管球を回転させながら撮影することで血管を立体画像で観察して、より安全に短時間でカテーテルを目的部位まで進めることができます。  
（新規導入した心カテ装置は心臓のカテーテル検査・

治療を行う装置で、最も頻度が高いのは狭心症や心筋梗塞です。

血管の状態を観察し、緊急性があれば即時血管拡張や再開通の治療を行います。

また不整脈に対しては電極カテーテルを用いて原因を特定し、徐脈性に対してはペーシング、頻脈性ではアブレーションの治療を行います。

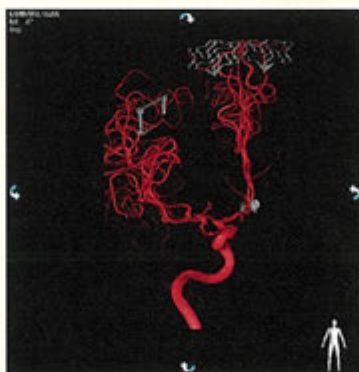
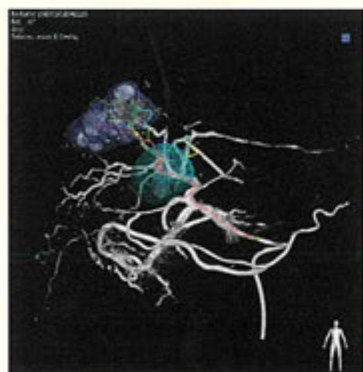
新しい装置では同時に2方向からの透視・撮影を行うことが可能であり、検査時間の短縮と造影剤量の低減が図れます。長時間にわたる透視が行われるため、被曝低減機能を充実させました。

装置の更新により、高度で正確な血管内治療を行うことが可能になりました。

記事担当

放射線科

### 【新規導入したアンギオ装置の画像】



### 【12月導入済 アンギオ装置】



### 【3月導入予定心カテ装置】





栄養科ワンポイント  
コーナー

～旬を知って、旬を楽しもう！～

## 『春野菜』



### 春野菜の種類と特徴

たけのこ・・・食物繊維が豊富

気力アップ効果

春キャベツ・・・免疫力アップ

アンチエイジング効果

アスパラガス・・・動脈硬化予防

胃腸回復

新たまねぎ・・・新陳代謝促進

血液サラサラ効果

昔から「春は苦みを盛れ」と言われているのをご存知ですか？「春は苦いものを食べなさい」という意味です。

春が旬の野菜や山菜には強い香りや独特の苦みがあり、この苦みが春を感じさせてくれます。実は、この苦みやえぐみが私達人間の身体にとっても良いものなのです。春野菜を食べると、冬の寒い間に縮こまっていた身体に刺激を与え、身体を目覚めさせ、活動的にしてくれます。

この苦み成分は、抗酸化作用のあるポリフェノール類で新陳代謝も促進してくれます。

ポリフェノールは活性酸素を除去し、老化の進行を遅らせる働きがあります。

また、春野菜にはビタミンが豊富なものが多いのも特徴です。

春野菜を美味しく食べて旬を楽しむことで、活力をつけ、健やかな身体で新生活がスタートする春を満喫して下さい。

# 病院からのお知らせ

## ✓ すまいる長中 タイトル表彰式

当広報誌のタイトルは、院内スタッフより公募いたしました。

なんと、応募総数は28タイトル！

病院管理者の選考により、みごと広報誌タイトルの栄誉に輝いたのは、6階東病棟看護師の阿部さん。「広報誌を読んで頂いた皆さまが笑顔になりますように」と願いを込めたタイトルです。

すまいる長中は、年4回の発行を目指して参ります。今後も要注目！でお楽しみください。



### 【ご意見募集】

すまいる長中へのご意見、ご感想を募集しております。

すまいる長中は、長岡中央総合病院の広報誌です。地域の皆さまにわかりやすく当院の活動を紹介します。すまいる長中を通じて、皆さまに笑顔が届きますよう活動して参ります。

宛先：〒940-8653 長岡市川崎町2041 長岡中央総合病院 福祉連携センター  
ホームページ：<http://www.nagachu.jp/>